

水道局だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.4

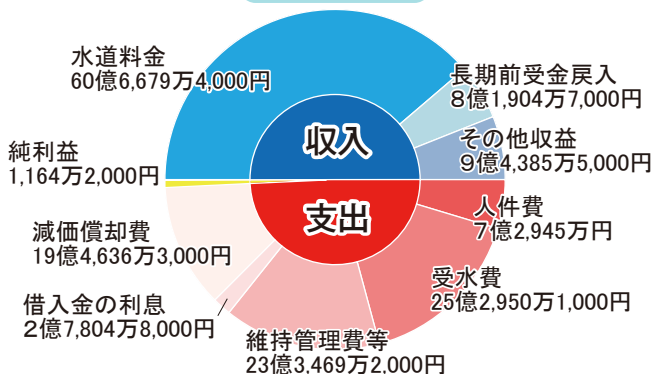
令和元年6月1日発行
水道局

☎237-5811 FAX 237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は令和元年度予算や、皆さんが安心して水道水を使用していただけよう水質検査の結果について紹介します。

令和元年度予算を見てみよう！

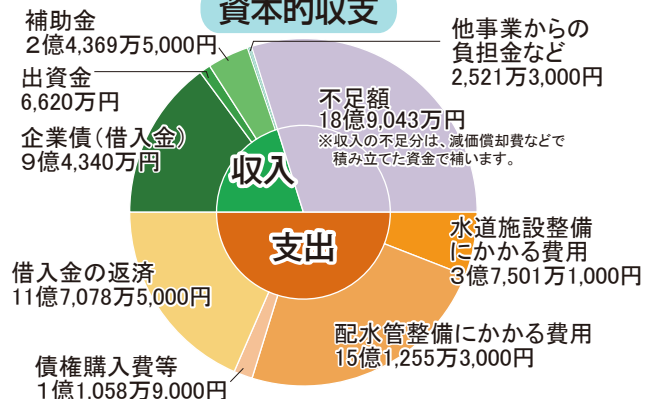
収益的収支



収益的収入	78億2,969万6,000円
収益的支出	78億1,805万4,000円
純利益	1,164万2,000円

※税込み

資本的収支



資本的収入	12億7,850万8,000円
資本的支出	31億6,893万8,000円
収支差引	△18億9,043万円

※税込み、△はマイナスを表す

収益的収支と資本的収支

- 収益的収支(左グラフ)…その年度の水道水の提供に必要な費用と、収入(主に水道料金)
- 資本的収支(右グラフ)…水道を将来にわたって維持するために必要な施設の整備や拡充などに係る費用と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)

資本的収支を見ると約19億円も不足しているけど、必要な事業をやっていけるのかな？

将来施設を新しくするために備えた貯金が42億円あって、そこから支払うんだよ。また、収益的収支の減価償却費や長期前受金戻入などの会計上の処理をすると、約14億円戻すことができるんだ。貯金の動きを下の計算式で見てみようか。

水道局の貯金の動き

これまでの貯金 (損益勘定留保資金)	令和元年度 の不足	令和元年度 の貯金	貯金残高
42億円	19億円	14億円	37億円

←平成30年度決算の見込み → 令和元年度決算の見込み

令和元年度末に減る貯金 5億円

令和元年度はこのままいくと、5億円貯金が減ることになるんだね。

前回の水道局だよりで、津市の水道は課題がたくさんあるから計画的に事業を進める必要があることが分かったけど、お金がないのに大丈夫なの？

今は何とかやりくりできているけど、近い将来安定的な水道供給に支障が出るかもしれないね。厳しい中でも令和元年度は次のような事業を進める予定なんだ。

- 老朽管路更新事業(10年間で約98kmを予定)
白山町南家城地内配水管布設工事など約6.8kmの耐震化
- 配水池への緊急遮断弁の設置(10年間で16カ所設置予定)
一志川合配水池、一志井生配水池
- 災害等の大規模停電に備えた自家発電装置の設置
垂水山、高松山、白山藤ポンプ場

これからも大切な水道水をちゃんと届けてもらうにはいろいろと大変そうだね。だから水道事業の民営化という話が出るんだね。